



Ja Sakaiの方向性

2016年 9 月 13,14日

Ja Sakai 幹事会

課題

- システム環境の変化
NGDLEではIMS標準などで統合される分散型学習支援環境が提唱されており、CMSを補完する各種ツールを含めた包括的なシステム環境を検討する必要が出てきた。
- Sakai展開
国内大学におけるCMSの導入はほぼ一巡し、Sakaiの新規導入は期待できない。

2017年の10周年を機に Ja Sakaiのあり方を見直したい

Ja Sakaiカンファレンス開催はその結果を踏まえて計画する

Sakai/Ja Sakai Community History



2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
<p>Sakai</p> <p>Sakai/Apereero Conference</p> <p>Ja Sakai Conference</p> <p>Membership</p>													
	★ ★ ★ ★				★	★	★	★	★	★	★	★	★

Ja Sakaiコミュニティの特長

- 国公立大学およびITベンダーから構成されている。
- システム構築、運用・管理およびシステム開発を行っている実務的なメンバーである。
- 国内外の関連コミュニティに所属し、最新の情報を有している。
- NGDLE等の新しい技術に対応できる知識・経験を有する技術集団。



何をすべきか？

Ja Sakai Conference 2017 案



開催地： 京都大学

日程： CLE研究会(3/21)の前、
高等研究フォーラムの後、 3/20 15:00-

参考

情報処理学会 3/16 – 3/18 (名古屋大学)

電子情報通信学会 3/22 – 3/25 (名城大学)

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1